

## ■教育構想実践書について

本大学院では、学術論文の代わりに、実務に直結する「教育構想実践書」を提出する。

「教育構想実践書」は、1年次に必修科目として履修する「教育構想演習（Ⅰ）」「教育構想演習（Ⅱ）」で作成した「リサーチペーパー」をもとに、2年次必修科目の「教育構想研究（Ⅰ）」「教育構想研究（Ⅱ）」での指導を通して執筆する。

この「教育構想実践書」では、学生自身が設定した教育実務もしくは現在の教育についての課題について、教育学への情報科学や経営学の応用、および科学的な知見等を踏まえたうえで、具体的な「実践」のありかたを構想することである。研究論文として論理的な記述を推奨するが、現場への具体的な実践のありかたの構想を論述することに力点を置き、学術論文の形式にこだわらず、教育テックを活用した詳細な授業改善や授業手法、教育DXや人材研修プログラムの提案書のような形式のものも認めることから特定の課題と位置付ける。